(19)日本国特許庁(JP)　(12)特　許　公　報(B2)　(11)特許番号
特許第3623225号
(P3623225)
(45)発行日　平成17年2月23日(2005.2.23)　(24)登録日　平成16年12月3日(2004.12.3)

(51)Int.Cl.[7]	F I		
G07G 1/12	G07G	1/12	341A
G06F 17/60	G07G	1/12	351A
G07G 1/06	G06F	17/60	118
	G06F	17/60	172
	G07G	1/06	D

請求項の数 1　(全 7 頁)

(21)出願番号　特願2003-420290(P2003-420290)
(22)出願日　平成15年12月18日(2003.12.18)
(62)分割の表示　特願平10-31040の分割
原出願日　平成10年2月13日(1998.2.13)
(65)公開番号　特開2004-171583(P2004-171583A)
(43)公開日　平成16年6月17日(2004.6.17)
審査請求日　平成15年12月18日(2003.12.18)

早期審査対象出願

(73)特許権者　000003562
東芝テック株式会社
東京都千代田区神田錦町１丁目１番地
(74)代理人　100101177
弁理士　柏木　慎史
(74)代理人　100102130
弁理士　小山　尚人
(74)代理人　100072110
弁理士　柏木　明
(72)発明者　金井　達彦
静岡県田方郡大仁町大仁５７０番地　東芝テック株式会社大仁事業所内

審査官　大山　広人

最終頁に続く

(54)【発明の名称】商品販売登録処理装置及びこれに用いるプログラムを記録した記録媒体

(57)【特許請求の範囲】
【請求項１】
商品コード入力手段とレシート印字発行手段とを備え、入力された商品コードの商品についてレシート発行を含む商品販売登録処理を実行する商品販売登録処理手段と、
顧客のタイプを特定するタイプコード毎に広告メッセージを電子情報の形態で格納するメッセージファイルと、
顧客コード毎に１又は２以上の購入履歴を格納する顧客ファイルと、
商品販売登録処理に際して前記顧客コードを入力する顧客コード入力手段と、
商品販売登録処理に際して前記顧客コード入力手段によって顧客コードが入力された場合、前記顧客ファイルにおける入力された前記顧客コードに対応する購入履歴の有無を判定する購入履歴有無判定手段と、
購入履歴があると前記購入履歴有無判定手段が判定した場合、前記購入履歴から１つの前記タイプコードの選出をするタイプコード検索手段と、
前記タイプコード検索手段によって選出された前記タイプコードに基づいて前記メッセージファイルから対応する前記広告メッセージを取り出して前記レシート印字発行手段によってレシートに印字するメッセージ出力手段と、
を備える商品販売登録処理装置。
【発明の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】

本発明は、商品販売登録処理装置及びこれに用いるプログラムを記録した記録媒体に関する。

【背景技術】

【０００２】

広告メッセージの伝達媒体として、従来から、テレビや新聞・雑誌等のマスメディア、ダイレクトメール、店舗の内外における看板や掲示板等が従来から広く用いられている。このような各種の広告メッセージの伝達媒体は、広告の目的や対象となる商品等によって適宜選択される。例えば、不特定多数の人に対して広告メッセージを伝達したい場合にはテレビや新聞・雑誌等のマスメディアを通じた広告が有効であろうし、性別、年齢層、商品の購入履歴等によって類別されるある特定のカテゴリーに属する人に的を絞った広告メッセージの伝達を欲する場合にはダイレクトメールによる広告が有効であろう。特に、ダイレクトメールの発送方法としては、紙媒体の形態で作成した広告メッセージを郵便やファクシミリを用いて発送する方法が従来から一般に用いられているのに対し、近年の電子通信網の発達から、電子情報の形態で作成された広告メッセージをファクシミリや電子メールを通じて発送するようなことも広く行なわれるようになってきている。

【０００３】

【特許文献１】特開平７－２９０７２号公報

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【０００４】

ある特定の個人やある特定のカテゴリーに属する人に的を絞った広告メッセージの伝達方法としては、ダイレクトメールが効果的である。ここで、ダイレクトメールの発送先は、無差別に選定したり、所定の個人情報に基づいて選定したりしている。このため、広告メッセージの発送先を無差別に選定する場合には、広告メッセージの受け手にその者が欲する情報を効果的に伝えることが出来ず、良好な宣伝効果を得ることができないという問題がある。また、広告メッセージの発送先を所定の個人情報に基づいて選定する場合には、その個人情報を得るために費用がかかり、また、獲得した個人情報から広告メッセージの発送先を選別するのに労力及び時間がかかるという問題がある。このような広告メッセージの発送先の選定は、ＰＯＳ端末が設置される店舗や商品販売登録処理装置を保有する会社等が広告メッセージを発送する場合にも同様であり、商品販売登録処理装置が蓄積する販売履歴情報等の個人情報は全く利用されていない。また、商品販売登録処理装置が蓄積する販売履歴情報等の個人情報の利用については、ダイレクトメール以外の他の広告メッセージ伝達方法においても特に考慮されてはいない。したがって、ある広告メッセージをより高い宣伝効果が見込めるような顧客に伝達することについては、特別の技術が開発されていないのが現状である。

【０００５】

本発明の目的は、より高い広告宣伝効果が見込めるような広告メッセージを顧客に伝達することができる商品販売登録処理装置を得ることである。

【課題を解決するための手段】

【０００６】

請求項１記載の商品販売登録処理装置の発明は、商品コード入力手段とレシート印字発行手段とを備え、入力された商品コードの商品についてレシート発行を含む商品販売登録処理を実行する商品販売登録処理手段と、顧客のタイプを特定するタイプコード毎に広告メッセージを電子情報の形態で格納するメッセージファイルと、顧客コード毎に１又は２以上の購入履歴を格納する顧客ファイルと、商品販売登録処理に際して顧客コードを入力する顧客コード入力手段と、商品販売登録処理に際して前記顧客コード入力手段によって顧客コードが入力された場合、前記顧客ファイルにおける入力された前記顧客コードに対応する購入履歴の有無を判定する購入履歴有無判定手段と、購入履歴があると前記購入履歴有無判定手段が判定した場合、前記購入履歴から１つの前記タイプコードの選出をするタイプコード検索手段と、タイプコード検索手段によって選出されたタイプコードに基づ

いてメッセージファイルから対応する広告メッセージを取り出してレシート印字発行手段によってレシートに印字するメッセージ出力手段とを備える。

【発明の効果】

【００１１】

請求項１記載の商品販売登録処理装置の発明は、顧客毎に顧客ファイルに格納されたタイプコードを検索キーとして広告メッセージをメッセージファイルから取り出し、取り出された広告メッセージをレシートに印字するようにしたので、顧客ファイルに格納するタイプコードいかんによって、より高い広告宣伝効果が見込めるような顧客に広告メッセージを伝達することができる。

【発明を実施するための最良の形態】

【００１４】

本発明の実施の一形態を図面に基づいて説明する。本実施の形態は、商品販売登録処理装置として、店舗内に設置されてサーバとして用いられるＰＯＳ端末１に適用した例を示す。実際には、このＰＯＳ端末１にはクライアントとなる図示しないＰＯＳ端末が接続され、また、ＰＯＳ端末１自体も通信網を介して図示しないホストコンピュータに接続され、これらが全体として１つの商品販売登録処理装置を構築する。

【００１５】

図１は、サーバとして用いられるＰＯＳ端末１における各部の電気的接続のブロック図である。図１に示すように、ＰＯＳ端末１では、各種の演算処理を実行して各部を集中的に制御するＣＰＵ２と、固定データを格納するＲＯＭ３と、可変データを書換え自在に格納するＲＡＭ４とからなるマイクロコンピュータ構成のＰＯＳ制御部５に対して各部がシステムバス６を介して接続されている。システムバス６を介してＰＯＳ制御部５に接続される各部は、レシート印字発行手段として機能するＲ／Ｊプリンタ７、キャッシャ側に向けられた画像表示器８ａと客面に向けられた客面表示器８ｂとからなる画面表示器８、キーボードやバーコードスキャナ等によって構成されて商品コード入力手段としても機能するデータ入力部９、ドロワ１０、フロッピーディスクドライブ１１、インターネット接続用のＩ／Ｆボード１２及びハードディスク１３である。

【００１６】

このような基本構成を持ったＰＯＳ端末１では、ハードディスク１３に各種のプログラムやファイル等がインストールされている。ハードディスク１３に格納されたプログラムには動作プログラムが含まれており、この動作プログラムはＰＯＳ端末１の起動時にその全部又は一部がＲＡＭ４に書き込まれて使用される。したがって、ハードディスク１３及びＲＡＭ４が、コンピュータであるマイクロコンピュータ構成のＣＰＵ２、ＲＯＭ３及びＲＡＭ４に実行させるプログラムを記録したコンピュータ読み取り可能な記録媒体となる。

【００１７】

次いで、タイプコードについて説明する。図５は、タイプコードのコード体系を示す模式図である。タイプコードは、４桁の数字から構成されている。１桁目のコードは商品分野を、２桁目のコードは商品の対象年齢を、３桁目及び４桁目のコードは詳細情報をそれぞれ示す。例えば、「１０２４」のタイプコードは、商品分野が「ゲームソフト」、対象年齢が「対象年齢なし」、詳細情報が「Ｓ社△△××ゲーム」であることを示す。

【００１８】

ここで、ＰＯＳ端末１は、動作プログラムに従いＣＰＵ２に統括制御される基本的な処理として、商品販売登録処理を実行する。つまり、データ入力部９の一部を構成するキーボード又はバーコードリーダから購入商品の商品コードが入力されると、その商品コードに対応する価格等のデータが商品広告ファイル２０から検索され、商品コードが入力された購入商品全ての合計価格が計算されて画面表示器８に表示される。そして、例えばキーボード中の預／現計キー等が押下されて締め処理がなされると、消費税計算等が実行されて消費税を含む売上合計金額が計算され、入力された商品コードがハードディスク１３内の図示しない売上メモリに登録される。そして、このような売上メモリへの登録処理に際

し、Ｒ／Ｊプリンタ７が駆動制御されてレシートの印字発行とジャーナルの印字保存とが実行される。ここに、レシート印字発行手段の機能と、商品販売登録処理を実行する商品販売登録処理手段の機能（商品販売登録処理機能）とが実行される。

【００１９】

このような商品販売登録処理に際しては、データ入力部９からの顧客コードの入力も許容され、顧客コードが入力された場合には、購入履歴マスタファイル１８中の顧客ファイル２１が更新登録される。つまり、入力された顧客コードに対応する購入日、購入商品、購入金額及びタイプコードの欄に該当事項が登録される。これらの各項目のうち、タイプコードについては、商品マスタファイル１６中の商品広告ファイル２０が参照され、購入された商品に対応するタイプコードが顧客ファイル２１に登録されることになる。ここに、顧客ファイル作成手段の機能が実行される。こうして、顧客ファイル２１には、その顧客に対する広告宣伝効果が高い広告メッセージのタイプコードが特別な操作なく自動登録される。これにより、操作の容易化が図られる。

【００２０】

また、ＰＯＳ端末１は、ＣＰＵ２の統括制御のもと、登録処理ばかりでなく、精算処理や点検処理等、一般的なＰＯＳ端末が備える処理を実行する。これらの処理は、一般的なＰＯＳ端末が実行する同様の処理と同じなので、その説明は省略する。

【００２１】

図６は、広告メッセージをレシートに印字する処理の流れを示すフローチャートである。本実施の形態のＰＯＳ端末１では、広告情報マスタファイル１９内の広告メッセージファイル（メッセージファイル）２２に格納された所定の広告メッセージをレシートに印字することができる（ステップＳ４参照）。つまり、図６に示すフローチャートは、商品販売登録処理の実行時における締め処理後のサブルーチンであり、締め処理がなされると、データ入力部９による顧客コード入力の有無が判定される（ステップＳ１）。ステップＳ１で顧客コードの入力があったと判定された場合には、顧客ファイル２１が検索され、入力された顧客コードに購入履歴（購入日、購入商品、購入金額及びタイプコード）があるかどうかが判定される（ステップＳ２）。例えば、図３に示す顧客コードの場合には、購入履歴ありと判定される。ここで、図３の例では、購入履歴は１つだけしか登録されていないが、実際には複数個の購入履歴が登録されている場合がある。そこで、続くステップＳ３では、１つの購入履歴（タイプコード）のみの選出処理が実行される。ここに、タイプコード検索手段の機能（タイプコード検索機能）が実行される。このステップＳ３の処理では、例えば、最新の購入履歴を選出したり、あるいは、商品広告ファイル２０を参照して購入履歴中の購入商品から商品部門を検索し、最も多く登録されている商品部門の商品中の最新登録商品を選出したりする。そして、１つのタイプコードが選出されたら、広告メッセージファイル２２を参照し、選出されたタイプコードに対応する広告メッセージを取り出し、これをＲ／Ｊプリンタ７によってレシートに印字しレシート発行を行う（ステップＳ４）。ここに、メッセージ出力手段の機能（メッセージ出力機能）が実行される。

【００２２】

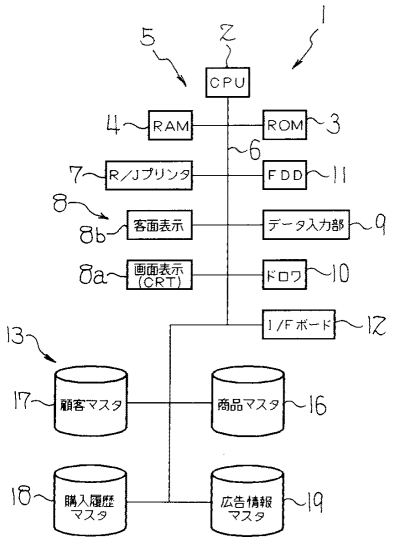
一方、ステップＳ１で顧客コードの入力があったと判定された場合、又は、ステップＳ２で購入履歴がないと判定された場合には、購入された商品に基づくタイプコードを商品広告ファイル２０を参照して検索し、検索されたタイプコードに対応する広告メッセージを広告メッセージファイル２２を参照して取り出し、これをＲ／Ｊプリンタ７によってレシートに印字しレシート発行を行う（ステップＳ５）。ここに、購入履歴有無判定手段の機能が実行される。

【００２３】

図７は、印字発行されたレシート２３の一例を示す平面図である。図７に例示するように、レシート２３にはその下部に広告メッセージが印字されている。このように、本実施の形態によれば、より高い広告宣伝効果が見込めるような顧客に広告メッセージを伝達することができる。

【図面の簡単な説明】
【００２４】
【図１】商品販売登録処理装置の一部を構成するＰＯＳ端末のブロック図である。
【図２】商品広告ファイルのデータ構造を示す模式図である。
【図３】顧客ファイルのデータ構造を示す模式図である。
【図４】広告メッセージファイルのデータ構造を示す模式図である。
【図５】タイプコードのコード体系を示す模式図である。
【図６】広告メッセージの出力処理の流れを示すフローチャートである。
【図７】印字発行されたレシートの一例を示す平面図である。
【符号の説明】
【００２５】
７　　レシート印字発行手段
９　　商品コード入力手段，顧客コード入力手段
２０　　商品広告ファイル
２１　　顧客ファイル
２２　　メッセージファイル（広告メッセージファイル）
ステップＳ２　　購入履歴有無判定手段
ステップＳ３　　タイプコード検索手段
ステップＳ４　　メッセージ出力手段

【図１】



【図２】

Z0

JANコード	4912345678901
商品名	F○○××
部門	2205
価格	7,500
原価	3,000
タイプコード	1024

【図３】

Z1

顧客コード	1234567890
購入日	1997/9/9
購入商品	F○○××
購入金額	7,500
タイプコード	1024

【図４】

Z2

タイプコード	広告メッセージ
0000	
・	
1023	最強格闘家は誰だ!! S社版 ○○××△△ 9/30発売決定
1024	魅惑の3D×××○○△△△F○○×× 遂にS社版で9/20発売!!予約受付中
・	
9999	

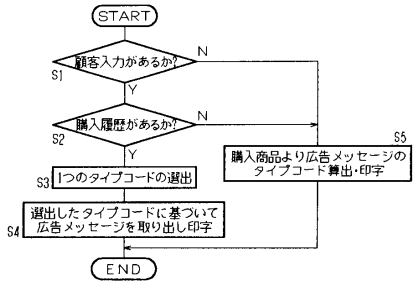
【図５】

1桁目のコード	商品分野
1	ゲームソフト
2	人形
3	模型
4	パズル
5	パーティー用品
9	その他

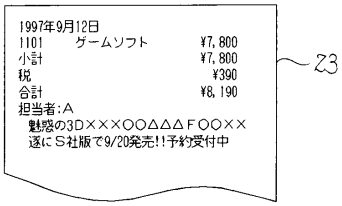
2桁目のコード	対象年齢
0	対象年齢なし
1	幼児
2	小学生
3	中学生
4	高校生
5	18歳以上
9	その他

3･4桁目のコード	詳細コード
00	キャラクターグッズ
・	・
22	N社○○△△△ゲーム
23	S社×△△ゲーム
24	S社△△××ゲーム
・	・
99	その他

【図６】



【図７】



フロントページの続き

(56)参考文献 特開平７－２９０７２（ＪＰ，Ａ）
特開平１－１７７１９４（ＪＰ，Ａ）
特開平５－１８９６６５（ＪＰ，Ａ）

(58)調査した分野(Int.Cl.[7]，ＤＢ名)
Ｇ０７Ｇ　１／００　－　１／１４
Ｇ０６Ｆ　１７／６０